

次なる一手

『50周年記念誌』

流山市囲碁同好会

流山市文化協会囲碁部

日本棋院流山支部

平成30年（2018年）11月吉日

【目次】

ご挨拶	流山市囲碁同好会会長	寺上義昭
	流山市文化協会会長	小野正之
	流山市文化協会囲碁部長	小手辰男
	日本棋院流山支部支部長	新矢敏直

【1】 歴代役員履歴

【2】 現・旧役員と役務

【3】 流山市囲碁の功労者

【4】 招聘したプロ棋士および特別講師

【5】 段級位制から棋力点数制へ移行

【6】 流山市囲碁同好会と日本棋院流山支部の会則制定

【7】 流山市囲碁大会並びに囲碁講座の変遷と現状

【8】 流山市4地区の囲碁サークルの現状

【9】 日本棋院流山支部の現状

1) 日本棋院流山支部の組織

2) 千葉県地域交流囲碁大会

3) 千葉県の市と町の囲碁対抗&親睦の会（縁の会）

【10】 流山囲碁界のホームページ開設

【11】 真澄会（高橋真澄プロの後援会）

【12】 あとがき

流山市囲碁同好会名誉顧問 陣内富士男

『資料』

(1) 平成21年～29年 囲碁研修旅行の記録

(2) 平成21年～30年 各大会の優勝者一覧

(3) 段級位囲碁大会オープン戦記録

(4) 地域交流囲碁大会記録

(5) 東葛飾文化祭囲碁大会記録

(6) 『囲碁を楽しもう』の記録

ご挨拶

流山市囲碁同好会
会長 寺上義昭

流山市囲碁同好会の活動は50周年を迎える事ができました。半世紀に渡り、活動が継続できました事は驚きであります。これは囲碁愛好者及び関係各位の温かいご支援の賜物であり、また、この長きに渡って当会の運営を支えて頂いた各役員並びに諸先輩の方々に深く感謝を申し上げます。

この度、流山市囲碁同好会と流山市文化協会及び日本棋院流山支部の流山囲碁界の3団体の平成21年から平成30年までの10年間をまとめた『50周年記念誌』を発刊しました。この10年間の経緯の中で、我々同好会の一員でありました高橋真澄さんが平成23年にプロ棋士になられたことをまず紹介します。真澄さんは小学6年生で当同好会に入会し、中学3年生で近隣市の強豪が集まる東葛飾囲碁大会の名人戦で優勝するなど、アマチュア七段の実力を備えるまでに成長されました。現在、プロ棋士三段ですが、今後の更なるご活躍を皆様と共に応援していきたいと思っております。

次に、高齢化による各種大会への参加者の減少にどう対処していくか、また対外試合で、特に名人戦での成績が芳しくなく、他市に負けない高段者の棋力をどう向上させていくかの課題もあります。これらの課題に対応するために、昨年9月、我々の活動を紹介する流山囲碁界のホームページ（HP）を開設しました。このHPを機能的に活用し、日本棋院流山支部と一体となって、プロ棋士の招聘回数を増やし、囲碁勉強会をより活発に出来れば、会員の増加、並びに我々の棋力向上に繋がると考えております。この『50周年記念誌』をご照覧の上、何かご意見がありましたら、今後の活動に生かしたいと思っておりますので、ご一報をお待ちします。よろしく申し上げます。

ご挨拶

流山市文化協会
会長 小野正之

流山市囲碁同好会の皆様には、創立50周年を迎えられ誠にありがとうございます。

平成13年に発刊された流山市文化協会の『30年史』によりますと、流山市囲碁同好会は昭和45年に流山市文化協会設立を機に発足されております。当時は市内数カ所の持ち回りの場所で数十名の参加者で開催されたと聞き及んでおります。貴囲碁同好会は流山市文化協会の歴史と共にあり、先人たちのたゆまぬ努力と献身で囲碁普及を促進し発展させたことに敬意を表したいと思っております。

現在の流山市文化協会は市内各種の文化活動者と協調し、融合を図り、開かれた明るい文化都市を目指し22団体で活動しております。毎年、11月3日の文化の日を挟んで、1ヶ月間、流山市と美術家協会と協同して、年間活動の集大成ともいべき『流山市文化祭』を展開しています。また、最近の流山市は、昨年、市政施行50周年を迎えましたが、それ以前から『魅力ある町づくり』に取り組み、つくばエクスプレスの開通もあり、特に、若年層の増加は著しものがあります。これらの利点を生かした文化活動を推進したいと思っております。

終わりに、流山市囲碁同好会及び日本棋院流山支部の皆様がこの良き伝統を継承し、より素晴らしい流山囲碁界になるように祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご挨拶

流山市文化協会

囲碁部長 小手辰男

この半世紀を紐解きますと、昭和42年（1967年）に市政が施行され、昭和44年に文化の殿堂として流山市文化会館が完成し、その翌年、流山市文化協会が誕生しました。これを機に、文化協会の各団体は共通の趣味を通して、日々の生活に潤いをもたらし、豊かな緑に囲まれた流山市に芸術、文化を根付かせました。現在は、盆栽、洋舞、菊花、俳句、華道、茶道、書道、煎茶道、写真、舞踊民謡、邦楽三曲、詩吟、映像、短歌、将棋、謡曲、手工芸、コーラス、伝統工芸、歌謡、囲碁の22団体がこれらの伝統を継承し、市民の憩いの場所として、市内各地区で幅広く躍動しております。

私達の流山市囲碁同好会も、時を同じくして、昭和44年、数名の有志で立ち上げたと聞き及んでおります。当初は囲碁セットの調達に始まり、会員の募集や対局場の確保等、多くの困難があった事は十分に理解されます。ここに改めて、先輩諸氏の尽力に心からお礼を申し上げます。

昨今の流山市の人口は増加の一途をたどっておりますが、囲碁愛好者は5、6年前より若干の減少が見られます。このため、如何に囲碁普及を進めるかという大きな課題があります。現在、この課題を少しでも解決すべく、市内各地に初心者、子供、女性を交えての囲碁勉強会を積極的に開き、段級位者には日本棋院流山支部が中心となって、プロ棋士を招き指導碁を展開しております。

この様に当囲碁界は囲碁に対して情熱を注ぎ、その普及活動を衰えさせない活力のある人達にしっかりと支えられており、益々の発展が期待されています。今後は皆様と共に囲碁を楽しみ、囲碁を通じて地域交流を促し、地域活性化の為に、皆様のご健勝に過ごされることをお祈り申し上げます。

ご挨拶

日本棋院流山支部
支部長 新矢敏直

流山市囲碁同好会創立50周年、おめでとうございます。

平成16年、私が代表をしていた駒木台囲碁同好会へ、当時の日本棋院流山支部長の工藤勃士さんが毎週参加されておりました。そして私に初石公民館でも囲碁会を始めないかと提案されました。私は碁盤セットを調達し、平成17年1月から『日本棋院流山支部中部道場』という名称で囲碁会を開始しました。当時は初石地区を中心に50名以上の参加者がありました。その後、駐車場も広いコミュニティプラザでも、流山市囲碁同好会から囲碁セットを借りて、中部大畔道場を開設しました。更に、十太夫道場も開設し、中部地区の道場会員数は250名にいたるようになりました。

現在、日本棋院流山支部は大きく三道場の本部道場（初石道場、駒木台道場、十太夫道場含む）、東部道場そして北部道場から構成されております。囲碁の内容は対局ばかりでなく、囲碁教室（生徒数約30名）、囲碁講義、指導碁そしてプロ棋士による研修会、更に、十太夫道場での小学生を対象とした初心者教室等、充実した内容になって来ております。

今後は更に、皆様と共に、仲良く囲碁を楽しみ、地域交流を促進し、皆様から喜ばれる囲碁会にしたいと思います。これからも流山囲碁同好会共々、日本棋院流山支部をよろしく願います。

【1】歴代役員履歴

(1) 『流山市囲碁同好会会長・事務局長』

歴代	期間	会長 (等)
初代	昭和44年～昭和59年	森田 俊雄
二代	昭和60年～平成06年	小林 利幸
三代	平成07年～平成16年	海藤 稠
四代	平成17年～平成26年7月	陣内 富士男・久島明 (事務局長)
五代	平成26年8月～平成26年12月	久島 明・寺上義昭 (副会長)
六代	平成27年～	寺上 義昭・小手辰男 (事務局長)

(2) 『流山市文化協会囲碁部長』

歴代	期間	部長
初代	昭和44年～昭和59年	森田 俊雄
二代	昭和60年～平成06年	小林 利幸
三代	平成07年～平成20年	柴田 欣司
四代	平成21年～平成26年	松本 守郎
五代	平成27年～	小手 辰男

(3) 『日本棋院流山支部支部長・幹事長』

歴代	期間	支部長	幹事長
初代	昭和45年～昭和59年	森 敬	
二代	昭和60年～平成08年	橋本喜毅	
三代	平成09年～平成26年	工藤勃士	陣内富士夫
四代	平成27年～平成28年	新矢敏直	上村静
五代	平成29年～	新矢敏直	佐久間祐一郎 (副支部長)

【2】 現・旧役員と役務

(1) 流山市囲碁同好会

『現役員と役務』		『旧役員』		
役務	氏名	伊藤 君夫	采女 浩	藤本 英巳
名誉顧問	陣内富士夫	笠間 一雄	石井 勝	太刀川 信夫
会長	寺上 義昭	日高 清夫	葛原 祥光	大石 健
事務局長	小手 辰男	岩田 和哉	遅澤 重雄	小林 哲夫
	(兼：会計、文化協会囲碁部長)	高山 洋一	松本 正彦	藤原 幸夫
監査役	浅井 修	伊佐 真介	高良 明德	竹本国夫
	(兼：東京理科大学担当役員)	上村 静	本川 節	石井博晴

役員	新矢 敏直
	(日本棋院流山支部支部長)
役員	佐久間 祐一郎
	(日本棋院流山支部副支部長)
役員	高橋 健一
	(真澄会会長)
役員	仙波 三郎
役員	村主 敏明
	(兼：東葛飾文化祭囲碁大会担当役員)
役員	小西 尚俊
役員	中檜 新
	(兼：会員名簿管理担当役員)
役員	曾我 正幸

(2) 日本棋院流山支部本部道場現役員

役務	氏名	
支部長	新矢敏直	
副支部長	佐久間祐一郎	
役員	村主敏明	茂木弘
	石井讓二	中村省三
	高杳晴雄	工藤健次郎
	畑孝造	佐藤興治
	田中清一	片山博司
	田中幸雄	中村明雄
	福原重司	有村安秀

【3】 功労者（敬称略）

1) 陣内富士男

昭和44年、20数名から当囲碁同好会を立ち上げ、以来50年間、幾多の要職を兼ねながら流山囲碁界を支え、今日の基礎を築き上げられました。平成16年からの10年間は当同好会会長及び日本棋院流山支部幹事長として、更なる発展のために、大なる貢献をされました。

2) 工藤勃士

平成8年、日本棋院流山支部の道場を各地に開設されました。以来10数年、同支部長として順位戦、地域別交流囲碁団体戦を企画し、多くの囲碁愛好者の育成と囲碁指導に情熱を注がれました。

3) 柴田欣次（故人）

平成7年より14年間、流山市文化協会囲碁部長として流山市囲碁界を支援し、平成11年からは、東葛飾文化祭囲碁大会を主導されました。更に、東京理科大学（野田キャンパス）主催の地域交流大会『囲碁を楽しもう』を野田市と共催し、当同好会を幅広く前進させ、また、初心者、女性、子供等の囲碁指導を積極的に行い、その普及に努められました。

4) 松本守郎

昭和45年、流山市文化協会の発足と同時に囲碁部の理事を務め、40数年来、囲碁セットの整備や対局場への輸送更に保管場所の確保等、当囲碁同好会のスムーズな運営に力を注がれました。

5) 久島明（故人）

平成14年から12年間、陣内会長、工藤支部長、柴田囲碁部長（故人）、松本理事を事務局長として支え、初心者及び級位者の育成に情熱を傾注されました。平成26年会長に就任し、より一層の囲碁普及活動に努められました。

6) 新矢敏直

この10数年、流山市囲碁界の中核である中部地区を束ね、当同好会と日本棋院流山支部の発展に尽力されました。平成26年から同支部長となられ、益々精力的に活動の幅を広げられておられます。

【4】－(1) 招聘したプロ棋士及び特別講師

年 月 日	講師	履歴	内容	場所
昭和46年3月14日	額 謙	棋士三段	囲碁講演	文化会館
昭和47年―――	藤沢 秀行	名人	囲碁講演	江戸川台西青年会館
昭和49年6月23日	額 謙	棋士四段	囲碁講演	江戸川台西青年会館
平成8年9月――	梅澤 由香里	棋士初段	囲碁講義	文化会館
平成9年11月16日	梅澤 由香里	棋士二段	囲碁講義	南流山センター
平成10年7月26日	額 謙	棋士五段	囲碁講義	南流山センター
平成11年9月26日	矢代 久美子	棋士三段	囲碁講義	南流山センター
平成20年11月9日	石田 秀芳	第24世本因坊	40周年記念講演	文化会館
平成21年11月8日	泉谷 政憲	棋士七段	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成22年11月7日	馬場 智弓	特別講師	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成23年2月5日	高橋 真澄	棋士初段	プロ棋士誕生祝い	南流山センター
平成23年11月6日	高橋 真澄	棋士初段	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成24年11月4日	高橋 真澄	棋士初段	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成25年10月22日	馬場 智弓	特別講師	囲碁講義	文化会館
平成25年10月27日	高橋 真澄	棋士二段	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成26年11月2日	久保 秀夫	棋士六段	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成26年12月7日	◎青木 喜久代	棋士八段	囲碁講義・指導	文化会館

◎：日本棋院流山支部主催の勉強会

【4】－(2)

年月日	講師	履歴	内容	場所
平成27年11月8日	久保秀夫	棋士六段	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成28年2月13日	◎宮崎龍太郎	棋士七段	囲碁講義、指導碁	文化会館
平成28年11月6日	馬場智弓	特別講師	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成29年4月15日	◎水間俊文	棋士七段	初心者教室・指導碁	十太夫福社会館
平成29年7月9日	三村芳織	棋士三段	囲碁講義・指導碁	初石公民館
平成29年11月5日	馬場智弓	特別講師	文化祭囲碁まつり	文化会館
平成29年11月12日	◎前田良二	棋士七段	囲碁講義・指導碁	コミュニティプラザ
平成30年2月21日	◎岡田結美子	棋士六段	囲碁未来のイベント	初石公民館
平成30年7月10日	◎土井誠	棋士八段	囲碁講義・指導碁	コミュニティプラザ
平成30年11月11日	高橋真澄	棋士三段	50周年記念行事	文化会館

◎印：日本棋院流山支部主催の勉強会

【5】 段級位制から棋力点制への移行

- 1) 平成18年まで、大会の対局方法は参加者が予め登録した段級位制を採用し、それを基に、クラス分けをし、段級位戦を行っていた。
- 2) 平成19年からスムーズな大会運営と対局の平等性を考慮して、段級位と棋力点の手合割表を作成し、棋力点制による対局方法に変更した。
- 3) 最初に決めていた各段・級の棋力点差7点は、昇段、昇級に不都合が生じた為に、平成24年からその棋力点差を14点に広げる改正をした。
- 4) 平成27年から、大会参加者が棋力点向上を目指し易くするために、通常の加点の他に優勝者に5点、準優勝者に3点を加点する制度を採用した。又、級位者のボトムアップを図るため、棋力点230点未満の人は、勝ち数のみを加点する制度にした。

【6】 流山市囲碁同好会と日本棋院流山支部の会則及び規約の制定

1) 流山市囲碁同好会

- | | | |
|--------------|------------|--------|
| ①流山市囲碁同好会の会則 | 昭和44年4月 | 本会則制定 |
| | 平成29年12月7日 | 第4回改正 |
| ②同大会要項 | 平成27年5月23日 | 大会要項制定 |
| | 平成30年4月5日 | 第3回改正 |
| ③同棋力点管理規定 | 平成27年5月25日 | 本規定制定 |
| ④同会員名簿管理規定 | 平成29年11月9日 | 本規制定 |

2) 日本棋院流山支部

- | | | |
|-------------|------------|-------|
| ①日本棋院流山支部規約 | 平成29年9月19日 | 本規約制定 |
|-------------|------------|-------|

【7】 流山市囲碁大会並びに囲碁講座の変遷と現状

1) 新年囲碁大会を新春囲碁大会に改名（毎年1月開催）

新春早々、毎年開催されている大会で、平成5年から現大会名に改名される。平成24年、25年は170名以上の参加者を数えたが、26年以降は120名～130名と減少傾向にある。

2) 団体交流囲碁大会を春季囲碁大会団体戦に改名（毎年3月開催）

市内の4地区ごとに、段級位別にチーム編成をし、公式戦6大会の内唯一の団体戦であった。平成24年、現大会名に変更し、現在は各地区で有段者チームをA、Bクラスに分け、1チームを5人編成とし、級位者チームはCクラスの3人編成とした。因みに平成29年は、Aは14チームBは10チームCは14チームで団体戦を行った。

3) 新緑囲碁大会兼東葛飾囲碁大会派遣選手選考会に改名（毎年5月開催）

平成11年、当市が主導して東葛飾地区7市2町と合同で東葛飾文化祭囲碁大会を開催し、現在は6市（柏、我孫子、鎌ヶ谷、松戸、野田、流山）で運営されている。平成27年から東葛飾地域市町交流囲碁大会予選会を新緑囲碁大会兼東葛飾囲碁大会派遣選手選考会と改名し、本大会の優勝者、準優勝者は優先的に当市の代表選手として派遣されることにした。ここ数年、当市の成績は有段者、級位者クラスともに上向いている。

4) 地域交流囲碁大会を夏季囲碁大会に変更（毎年7月開催）

地域交流囲碁大会は平成13年から毎年行われ、本同好会の段級位囲碁大会への地区選抜を兼ねて4地区で開催されていた。平成28年からこれを中止し、夏季囲碁大会に変更した。

5) 段級位囲碁大会オープン戦を秋季囲碁大会に変更（毎年9月開催）

平成24年、近隣の囲碁愛好家を招いて段級位囲碁大会オープン戦を開設した。しかし、当初の目的に反し、市外からの参加者は平成24年に9人、25年に5人、26年は2人と低調となり、中止せざるを得なくなった。平成27年から秋季囲碁大会に変更した。

6) 地域交流『囲碁を楽しもう』（東京理科大学・野田キャンパスで毎年10月開催）

平成16年、東京理科大学（野田キャンパス）の主催で野田市と流山市が共催し、地域交流『囲碁を楽しもう』という囲碁大会が企画された。毎年、東京理科大学生は10名弱、野田市は70名弱、流山市は60名前後の参加者がある。対戦は名人戦と棋力別クラスA、B、Cがあり、同時に初心者コーナーを設けて指導碁も行っている。尚、東京理科大学は選択科目として、囲碁講座があり、率先して囲碁普及に努めている。

7) 文化祭囲碁まつり（毎年11月開催）

昭和44年に20名で結成された流山市囲碁同好会は、翌年に流山市文化協会に加盟し、市文化祭の一行事として「文化祭囲碁大会」を開催した。この市文化祭を契機として囲碁の面白さをPRし、尚且つ、囲碁普及を促進すべく、平成15年に大会名を『囲碁まつり』に改名した。その際、プロ棋士や特別講師を招いて、囲碁講座、指導碁等を行い、その内容を充実させている。

8) 順位戦の中止

平成15年、初段以上を対象として、日本棋院流山支部主催の順位戦が開始された。棋力の段位をS、A、B、C、D、Eの6グループに分け、各グループ内対局は互先、6目半コミ出しの対戦とし、各組の上位2名が昇段するシステムであった。各対局は同レベルなのでかなりの刺激があり、集中力も要し活気に溢れていた。しかし、残念ながら対局を消化させる仕組みや参加者を集める方法に難があり、平成23年に中止とした。

9) 級位者の囲碁講座の一時中止と継続

平成16年に、前久島会長（故人）が囲碁同好会の後援の基、生徒の受講料や一部自己資金で毎月一度、特別講師を招いて囲碁講座を開設した。平成26年に病の為、中止となったが、平成28年に宮崎隆氏と勝山徳三郎氏がその志を継ぎ、初心者、女性・子供を中心に『たんぽぽの会』を開設した。現在の会員数は28名。

10) 級位者大会の中止

平成18年に級位者の棋力向上を目指して立ち上げたが、その目的は、ほぼ達成され、参加者もある程度限られてきたので、平成23年に中止とした。

11) 初心者、女性囲碁教室の一時中止と継続

平成16年、森の図書館で伊藤君夫氏の主宰で初心者、女性教室が開始された。そのお陰で多くの囲碁愛好者が誕生し、育成され、囲碁普及という目的は達成された。平成25年に中止となるが、中澤保延氏が引き継ぎ、初心者、級位者を中心に約40名が勉強中である。

【8】 流山市4地区の囲碁サークルの現状

①『東部地区』 2ヶ所の日本棋院流山支部道場と10ヶ所の囲碁サークル 会員数約181名

名称	会員数	代表者名	開催場所	開催日時	棋力範囲
日本棋院流山支部 東部道場	25	小西 繁	東部公民館	毎月第1・第3金曜日 12:00~18:00	2級~高段者
同上	25	寺上義昭	野々下公民館	毎月第2・第4火曜 13:00~19:00	2級~高段者
喜楽囲碁同好会	11	浜本幸広	豊四季自治会館	毎週土曜日 13:00~18:00	1級~四段
彗星会	17	小西尚俊	野々下公民館	毎週日曜日 9:00~12:00	15級~六段
				毎週月曜日 13:00~17:00	
ゆたか囲碁会	13	松山淳夫	豊四季自治会館	毎月第1・第3土曜日 12:00~17:00	級位者~四段
				毎月第2・第4水曜日 12:00~17:00	
本州団地囲碁同好会	10	出口勝美	本州団地自治会館	毎週水曜日 13:00~17:00	2級~高段者
松ヶ丘囲碁クラブ	11	森田秀夫	松ヶ丘自治会館	毎週木曜日 13:00~17:00	2級~高段者
松ヶ丘緑囲碁同好会	12	松下義信	松ヶ丘緑自治会館	毎月第2・第4日曜日 13:00~17:00	2級~高段者
東部囲碁クラブ	10	高橋忠男	東部公民館	毎月第2・第4金曜日 13:00~17:00	2級~四段
同・月曜会	20	藤沢富士夫	名都借福社会館	毎週月曜日 13:00~17:00	2級~四段
同・木曜会	20	清水 豊		毎週木曜日 13:00~17:00	2級~四段
向小金囲碁同好会	7	渡部寿一	向小金福社会館	毎週金曜日 13:00~17:00	2級~四段

②『南部地区』 4ヶ所の囲碁サークル 会員数約142名

名称	会員数	代表者	開催場所	開催日時	棋力範囲
南流山囲碁同好会	85	小手辰男 本川節	南流山センター	毎週日曜・月曜・木曜・金曜日 12:00~18:00	級位者~有段者
加台囲碁クラブ	29	宮崎隆 曾我正幸	文化会館	毎週日曜・木曜日 12:00~18:00	級位者~有段者
碁談会	18	小野二六	思井福社会館	毎週土曜日 12:00~18:00	四段以上
思井囲碁クラブ	10	藤井昌司	思井福社会館	毎週火曜・金曜日 9:00~18:00	3級~三段

2ヶ所の囲碁教室 会員数約68名

流山市文化協会 囲碁教室	40	江口武徳	文化会館	毎週火曜・土曜日 13:00~17:00	級位者~三段
たんぽぽの会	28	宮崎隆 勝山徳三郎	文化会館	毎月第2・第4土曜日 9:00~12:00	初心者・子供 女性・級位者
講師：石井章夫・泉沢勉・井上一					

③『中部地区』 4ヶ所の日本棋院流山支部本部道場 会員数約250名

名称	会員数	代表者	開催場所	開催日時	棋力範囲
日本棋院流山支部 本部道場	100	石井譲二 (日曜) 工藤健次郎 (火曜) 佐藤興治 (木曜)	コミュニティ プラザ	毎週日曜・火曜・木曜日 9:30~16:00	三段以上
同・初石道場	100	茂木弘・畑孝造	初石公民館	毎週月曜・水曜日 9:00~17:00	級位者~二段
同・十太夫道場	20	藤原幸夫・田中精一	十太夫福祉会館	毎週金曜日 9:30~17:00	級位者~有段者
同・駒木台道場	30	藤島徹・溝口早苗	駒木台福祉会館	毎週土曜日 9:30~17:00	級位者~有段者

3ヶ所の囲碁教室 会員数約70名

日本棋院流山支部 本部道場	30	茂木弘 佐久間祐一郎	コミュニティ プラザ	毎週火曜日 9:30~10:30	級位者
	若干名	茂木弘・石井譲二	コミュニティ プラザ	毎週日曜日 9:30~12:00	初心者
初石道場	30	茂木弘	初石公民館	毎週水曜日 9:00~10:00	級位者

『概況』

- 1)組織は日本棋院流山支部本部道場を中心として支部長以下役員15名で構成し、会員数は約250名。
- 2)入会資格は会則を遵守する方であれば、どなたでも可能です。
- 3)年2回の大会と研修旅行及び棋力点毎に6クラスに分けて3ヶ月のリーグ戦の開催があります。
- 4)週3回の初心者向け囲碁講座（定石、詰碁、手筋等）や高段者による指導碁など多岐にわたる。
- 5)年2回ほど、日本棋院プロ棋士を招聘し、会員の棋譜の解説や指導碁等を行っている。

④『北部地区』

2ヶ所の日本棋院流山支部道場と4ヶ所の囲碁サークル 会員数約163名

名称	会員数	代表者	開催場所	開催日時	棋力範囲
日本棋院流山支部 北部道場	30	中檜 新	森の図書館	毎週火曜・木曜・土曜日 9:00~18:00	級位者から有段者
	30	仙波三郎	北部公民館	毎週月曜・金曜日 9:00~18:00	級位者から有段者
江戸川台囲碁愛好会	45	満生明雅	江戸川台福祉会館	毎週日曜日 12:00~18:00	有段者
			東深井福祉会館	毎週土曜日 12:00~18:00	級位者から有段者
江戸川台西区囲碁会	20	秋元三郎	北部公民館	毎週日曜日 12:00~18:00	級位者から有段者
森の囲碁クラブ	38	中澤保延	森の図書館	毎週火曜日 12:00~18:00	級位者

1ヶ所の囲碁教室 会員数約38名

森の囲碁クラブ	38	中島敏夫	森の図書館	毎月第1・第3火曜日 13:00~17:00	初心者・級位者
---------	----	------	-------	------------------------	---------

【9】 日本棋院流山支部の現状（担当：佐久間祐一郎）

1) 日本棋院流山支部の組織

従来の日本棋院流山支部は組織創生に寄与された方々により運営していただき、特に、囲碁愛好者の育成と地域囲碁普及活動に力を注いでこられました。しかし、各地区の高齢化とあいまみ、更に日本棋院流山支部の発展と日本棋院との接触を密にするために、会員数が約200名と比較的多い中部道場を中心とした体制を築き上げる協議を開始しました。

それに伴い、平成29年1月から日本棋院流山支部は従来の中部道場を「本部道場」とし、日本棋院流山支部規約を新たに設けました。現在の日本棋院流山支部組織は本部道場、東部道場、北部道場より構成されており、日本棋院プロ棋士を積極的に招聘し、組織の交流を図り、囲碁講座や指導碁の勉強会を開催し、流山市の囲碁界を増々盛んにし、対外的にもその活動の幅をひろげております。

2) 千葉県地域交流囲碁大会（後援（財）日本棋院）

本大会は「老若男女が楽しめる囲碁を通じて、千葉県内の地域間・世代間交流の場を作り、互いの地域を思いながら、親睦を深めることを目的とする」という趣旨で発足されました。昨年まで5回の大会が開催され、約15市の参加があり、7人編成の団体戦が行われます。尚、当市の代表は日本棋院流山支部本部道場の「夏季納涼囲碁大会」から成績優秀者が選抜されております。

3) 千葉県の市と町の囲碁対抗&親睦会（縁の会）

本大会は「囲碁愛好団体」[縁の会]が主催し、日本棋院千葉支部連合会が後援し、昨年で8回目となります。試合は団体戦（3名）、ペアー碁（男女）、個人戦（3クラス別）が行われ、級位者を優先したプロ棋士3名による指導碁も同時開催されます。現在、当大会への参加者は日本棋院流山支部本部道場の第1期リーグ戦の成績優秀者から選抜してます。尚、他の囲碁グループからでも参加は可能です。

【10】 流山囲碁界のホームページ(HP) 開設（担当:村主敏明）

この10年間、ITは驚くべき速さで進化し、豊富な情報量を瞬時に伝達し、すばやく詳細にその情報を得る事が可能になりました。このような状況下で、平成25年から当囲碁同好会はよりスムーズな大会運営と各地区の囲碁サークルを事細かに紹介し、一人でも多くの方が囲碁を楽しめるように囲碁普及の活動の幅を広げる機会を検討しておりました。平成28年8月、幸いにもPCに卓越した知識の持ち主である高田孝司氏、旧役員の上村静氏の協力が得られ、私も含め3名でHP開設に着手し、平成29年9月、念願のHPは当囲碁同好会と日本棋院流山支部が運営するサイトとして開設される運びとなりました。このHPは流山市の囲碁大会の案内はもとより、各地区の囲碁サークルや囲碁教室および各種の囲碁行事の紹介、更に、日本棋院流山支部のプロ棋士による囲碁講座や指導碁等の案内も随時紹介されます。このHPから発信される数々の情報は当市に限らず、対外的にも囲碁ファンを引き付ける魅力のあるものとなり、より一層囲碁普及に貢献できるものと期待しております。

【11】 真澄会（担当：真澄会会長 高橋健一）

真澄プロは平成23年4月にデビューし、25年に二段、29年に三段に昇段し、現在に至っております。真澄会をご承知のごとく、真澄プロの活動を応援することを目的に、当時の流山市囲碁同好会の役員が発起人となり平成23年9月にスタートしました。

発足時、真澄プロは若手棋士の育成を目的としたケンカップの大会に参加しており、主催者から大会に参加する若手棋士に必要な経費が支給されて、名古屋から東京へ毎月1回、上京しておりました。真澄会はこのケンカップの開催に合わせて、2ヶ月に1回開催し、真澄プロへの謝礼は初段、二段クラスの日本棋院棋士派遣費の基準を適用しておりました。その後、主催者の死去に伴い、ケンカップは中止となり、上京の費用も機会もなくなりました。そこで真澄プロの交通費は真澄会で負担することとし、真澄会の開催回数を年6回から年4回に減らすことにしました。

真澄会の会員数は当初は40名程、ピーク時は52名でしたが、開催回数の減少により平成29年は31名に、30年度の会費納入者は22名となり、年々減少傾向にあります。29年2月に経費削減をかねて2日連続開催を実施、1日を初心者向けに、1日を高段者向けとしたところ、日本棋院流山支部道場の応援もあり、60名を超える参加者があり、なかなかの好評でした。

今後も皆様が喜んで参加し、期待されるような企画を考えたいと思いますので、引き続き、真澄会への応援をよろしくお願ひします。

【12】 あとがき 流山市囲碁同好会 名誉顧問 陣内富士男

50周年記念誌の発刊にあたり、この半世紀を振り返ってみたいと思います。

流山市囲碁同好会は昭和44年（1969年）に日本棋院流山支部と時を同じくして結成され、その翌年文化会館の完成と共に文化協会囲碁部の活動が開始されました。これらの囲碁団体を立ち上げた数名の有志は囲碁セットの整備に始まり、会員の募集や大会の対局場を確保し、更に、大会参加者の募集などに奔走しました。この人達の熱意は今日の流山囲碁界の礎となっております。

思い出は数知れずありますが、日本棋院流山支部として始めて招聘した女子プロの梅澤由香里さんの指導碁があり、可愛らしく、それでいて強い彼女に多くの方が魅了されたこと、また、流山市の主導で東葛飾文化祭囲碁大会を開催したことなどがあげられます。

人は時間が過ぎると、共に歩んできた道は忘れがちになります。歴史は後継者に良き道しるべを示し、次なる進むべき道を教えてくれます。今日の流山囲碁界はホームページの開設を始めとし、各地区の囲碁サークルは活気を帯び、日本棋院流山支部の新しい活動は、まさしく、『次なる一手』となっております。

終わりに、囲碁をこよなく愛している方々に感謝すると共に、ご健勝を祈念しご挨拶と致します。

『資料』

(1) 囲碁研修旅行の記録

開催年月日	開催場所	人数	内容	参加者氏名			
平成21年6月25日 ～26日	白寿荘	22	クラス別対局	陣内富士男	三原俊三	石井博晴	秋山盛喜
				伊藤洋祐	高橋健一	藤原幸夫	吉川靖郎
				檜皮征司	佐藤興治	赤瀬国治	仙波三郎
				平山寿秀	生田俊夫	松本守郎	久島明
				山岡真一郎	遅澤重雄	佐藤乙彦	石井章夫
平成22年6月16日 ～17日	白寿荘	23	クラス別対局	陣内富士男	久島明	遅澤重雄	石井章夫
				大石健	寺上義昭	岩田和哉	藤原幸夫
				竹本国夫	馬場康晴	本川節	森川敏弘
				平山寿秀	岩谷弘二	東野晋也	新矢敏直
				松本守郎	赤瀬国治	伊藤洋祐	小手辰男
				一丁木マチ子	佐違悦子	白井佳子	
平成23年5月11日 ～12日	レイク つくば	17	クラス別対局	陣内富士男	久島明	松本守郎	寺上義昭
				遅澤重雄	藤原幸夫	石井博晴	新矢敏直
				伊藤衛	小手辰男	本川節	志水嘉明
				石井章夫	渡辺清	岩田和哉	内保克江
				仙波三郎			

開催年月日	開催場所	人数	企画内容	参加者氏名			
平成24年6月19日 ～20日	いこいの郷 常総	19	自由対局 ペア碁	陣内富士男	丹下修二	石井章夫	高橋健一
				久島明	生田俊夫	御幡孝道	石井博晴
				馬場康晴	高良明德	内保克江	本川節
				小手辰男	山村宏	松本守郎	鎌田賢一
				寺上義昭	遅澤重雄	高木信夫	
平成25年6月12日 ～13日	いこいの郷 常総	20	クラス別対局 ペア碁	陣内富士男	高橋健一	丹下修二	久島明
				浅井修	竹本国夫	馬場康晴	高良明德
				新矢敏直	松本守郎	頓宮節次	本川節
				鎌田賢一	吉川靖郎	高木信夫	藤原幸夫
				生田俊夫	山村宏	黒井健次	浅井修
平成26年6月25日 ～26日	いこいの郷 常総	7	自由対局	佐久間祐一郎	久島明	松本守郎	伊佐真介
				陣内富士男	高良明德	上村静	
平成27年11月26日 ～27日	いこいの郷 常総	16	クラス別対局 ペア碁	陣内富士男	寺上義昭	上村静	村主敏明
				佐久間祐一郎	伊藤洋祐	小手辰男	岩西武利
				高良明德	新矢敏直	本川節	仙波三郎
				小澤サダ子	飯泉純子	阿部靖子	石井博晴

開催年月日	開催場所	人数	企画内容	参加者氏名			
平成28年11月24日 ～25日	ニュー・ カネイ	36	クラス別対局 指導碁	陣内富士男	上村静	寺上義昭	石井章夫
				佐久間祐一郎	村主敏明	石井博晴	井上一
(日本棋院流山支部と初共催) ※今回、初めて佐久間さんと村主さんの指導碁を 試み、級位者に大変好評でした。				小手辰男	岩西武利	塚田隆	津田秀人
				石井譲二	小西尚俊	高守竹次	茗荷進
				本川節	秋山盛喜	中村省三	田中幸雄
				黒井健次	藤原幸夫	佐藤興治	吉川靖郎
				勝山徳三郎	渡辺武	太田忠志	新矢敏直
				勝山千代子	藤原成子	是永知子	小田敏郎
				村野恵美子	湯浅尚子	溝口早苗	江口公子
				平成29年10月12日 ～13日	開催場所 カアナ・ パリ	人数 34	企画内容 クラス別対局 指導碁・連碁
(日本棋院流山支部と共催) ※今回は上村さんの指導の下で連碁を始めて試み、 棋力点が平均するように二組に分けた。 ※初心者から高段者へ順次、一人3手まで連続して 打ち、一人1分以内の考慮時間で2巡して終了。 ※着手に予想されない意外性と奇手が打たれ、 拍手と笑いの中の連碁研修会でした。				佐久間祐一郎 (主将)		上村静 (主将)	
				江村公子	中檜新	新井徳子	角田英雄
				西せい子	新矢敏直	村野恵美子	田中幸雄
				勝山千代子	小西尚俊	矢崎みちる	伊藤衛
				桜岡絹代	津田秀人	須藤正則	石井譲二
				是永知子	小手辰男	勝山徳三郎	岩西武利
				本川節	高良明德	茗荷進	石井博晴
				石内英雄	岩田和哉	佐藤興治	寺上義昭
太田忠志	陣内富士男	中村省三	伊藤洋祐				

(2) -① 各大会の優勝者一覧

開催年	組	新春囲碁大会	新緑囲碁大会	団体交流囲碁大会	囲碁まつり
参加人数		—	—	207名	—
平成21年	1	大石健	名人鈴木望義	A組：東初石チーム (大石健・茂木弘・大島義則)	記録不明
	2	佐藤乙彦	佐藤乙彦		
	3	斎藤尚久	谷口好正	B組：中部道場	
	4	中村和夫	小林充明	(高橋吉雄・石黒紀夫・森寛二)	
	5	小手辰男	藤代最	C組：碁久楽	
	6	松山淳夫	今井道直	(梅津栄三・安川伸之・若林和幸)	
	7	新井賢二	曳地三洋	D組：北部道場	
	8	佐々木利治	盛泰造	(笠原義治・米田広文・佐々木久)	
	9	菅原孝吉	佐々木久	E組：森のクラブ	
	10	中田孝光	岡部幸男	(中澤保延・山口洵・山岡紀生)	
	11	山岡紀生	相馬久子		
参加人数		—	—	—	—
平成22年	1	志水嘉明	丹下修二	記録不明	名人鈴木望義
	2	茂木弘	大久保真一		小野二六
	3	馬場康晴	津田秀人		横山昌弘
	4	村上庸	等々力勝		中田機文
	5	中村守	高杢靖雄		杉谷寿一
	6	伊藤衛	堀田千秋		太田浩一
	7	堀田信正	木立公綱		東野晋也
	8	澤田伸政	東野晋也		奈良井梅子
	9	小湊栄子	岩谷弘二		山田博
	10	中田孝光	岡部幸男		山岡紀生
	11	山岡紀生	林淳		

(2) -②

開催年	組	新春囲碁大会	団体交流囲碁大会	新緑囲碁大会	囲碁まつり
参加人員		—	—	—	—
平成23年	1	尾崎千賀雄	記録不明	名人岡田宗司	名人小宮陽一
	2	等々力勝		下倉茂	木村孝
	3	村主敏明		松本正彦	伊藤洋祐
	4	松下義信		石黒紀夫	高良明德
	5	伊藤君夫		河原輝明	佐々木滋夫
	6	友澤七郎		寺島美信	本川彰
	7	藤田俊秀		伊藤俊文	東延孝
	8	辻村正孝		中澤保延	下袴田武徳
	9	山里倫子		鈴木匡	上田美郎
	10			柿沢修	阿部精・山岡紀夫
参加人員		—	—	—	—
平成24年	1	鈴木望義	Aクラス：東初石チーム (生田俊夫・茂木弘・村主敏明 村上庸・石井譲二)	名人岡田宗司	名人岡田宗司
	2	等々力勝		下倉茂	酒井秋夫
	3	石井博晴		松本正彦	松島彰
	4	松島彰	Bクラス：東部道場 (中島敏夫・志水豊 山之内昭広・今元・出口勝美)	石黒紀夫	松下義信
	5	平野匡宜		河原輝明	斎藤尚久
	6	松本守郎		寺島美信	上田美郎
	7	田中精一	Cクラス：星の会 (山口操・柿沢修・飯泉純子 柳澤勝二・小川公康)	伊藤俊文	深沢四平
	8	鎌田賢一		中澤保延	吉川弘明
	9	菅原孝吉		鈴木匡	上辰男
	10	宮崎隆		柿沢修	城戸格夫
	11	澤田スミ			尾崎正啓

(2) -③

開催年	組	新春大会	春季大会団体戦	新緑大会	囲碁まつり
参加人員		183名	—	—	96名
平成25年	1	等々力勝	Aクラス：若葉台 (佐久間祐一郎・平塚宏・高谷明宏 田中芳男・石黒紀夫) Bクラス：東部道場 (浜本幸広・新井旭・小見猛 蔵本誠悟・東延幸) Cクラス：南部囲碁教室 (菅原孝吉・岩谷弘二・岡部幸男)	名人岡田宗司	名人岡田宗司
	2	田代康彦		大島義則	等々力勝
	3	高良明徳		高田孝司	伊佐真介
	4	高田孝司		高谷明宏	小笠原吉義
	5	平野匡宜		蔵本誠悟	新矢敏直
	6	松本守郎		海老原延治	蔵本誠悟
	7	上辰男		中澤保延	佐藤興治
	8	鎌田賢一		清水道孝	上田美郎
	9	井出是子		阿部幸雄	岡部幸男
	10	中田孝光		高橋義明	星隆二
	11	伊藤厚二			青山泰幸
参加人員		160名	156名	148名	100名
平成26年	1	下倉茂	Aクラス：南流山囲碁同好会 (平塚宏・柴田俊夫・伊佐真介) 小手辰男・泉治幸 Bクラス：シルバー人材 (早川鉦幸・笠間一雄・上辰男 橋本肇・伊藤俊之) Cクラス：中部道場 (井出是子・岩谷弘二・南川達夫)	名人岡田宗司	名人寺上義昭
	2	村上庸		小笠原吉義	平塚宏
	3	小笠原吉義		曾我正幸	松島彰
	4	横山昌弘		杉谷寿一	石井譲二
	5	鈴木伝吉		今井道直	若林聡
	6	伊藤和雄		伊藤和雄	永戸隆雄
	7	東野晋也		柳義信	秋元三郎
	8	島田健一		鈴木匡	石川良太郎
	9	中澤利夫		山下清人	中澤保延
	10	佐久間章			小野京
	11				新井茂利

(2) -④

開催年	組	新春囲碁大会	春季囲碁大会団体戦	新緑囲碁大会	地域交流 囲碁大会	秋季囲碁大会	囲碁まつり
参加人員		140名	166名	140名		128名	108名
平成27年	1	平塚宏	Aクラス：中部3A (村上庸・茂木弘 山上皓・越村洋 塚田隆)	名人岡田宗司	(別表参照)	上村静	名人村主敏明
	2	柴田俊夫		下倉茂		渡辺敏昭	伊藤洋祐
	3	高田孝司		曾我正幸		小手辰男	松島彰
	4	太田三郎		中村和夫		小野京	藤原幸夫
	5	伊藤和雄	Bクラス：南流山3B (泉沢勉・伊藤衛 佐向寛昭・阪田和彦 今井道直)	伊藤和雄		一条信利	中島敏夫
	6	小野京		藤島徹		海老原延治	若林聡
	7	下袴田武徳		下袴田武徳		本川節	伊藤君夫
	8	岩崎和彦	Cクラス：中部8C (藤原武弘・蒲浦美好 渡辺裕)	溝口早苗		鈴木匡	佐藤興治
	9	久末宥子		山本義夫			下袴田武徳
	10						清水道孝・井出是子
	11						岩谷弘二・山下清人
	組	新春囲碁大会	春季囲碁大会団体戦	新緑囲碁大会	夏季囲碁大会	秋季囲碁大会	囲碁まつり
参加人員		160名	140名	144名	144名	104名	104名
平成28年	1	佐久間祐一郎	Aクラス：東部2A (久須美裕司・高良明德 伊藤洋祐・松本正彦 松下義信)	名人岡田宗司	岡田宗司	渡辺敏昭	名人岡田宗司
	2	曾我正幸		榎田博考	田代康彦	榎田博考	陣内富士男
	3	泉治幸		伊藤和雄	伊藤和雄	永戸隆雄	酒井秋夫
	4	佐向寛昭		深沢四平	塚田隆	蔵本誠悟	伊藤和雄
	5	早川鉞幸	Bクラス：東部 (永戸隆雄・蔵本誠悟 中島隼男・出口勝美 田中鎮雄)	秋元三郎	仙波三郎	清水道孝	若林聡
	6	高杢晴雄		江原高	太田忠志	佐久間章	小西尚俊
	7	石川良太郎		田中鎮雄	柳義信	勝山徳三郎	田中幸雄
	8	吉川靖朗	Cクラス：加台囲碁 (中田利・宮崎隆 長宗敏治)	井出是子	中沢利夫		上田美郎・山下章久
	9	中田利		堀尾幸晴	林桂由		新堀忠道・佐違悦子
	10	山本義夫					本川節
	11						勝山徳三郎

(2) -⑤

開催年	組	新春囲碁大会	春季囲碁大会団体戦	新緑囲碁大会	夏季囲碁大会	秋季囲碁大会	囲碁まつり
参加人数		154名	152名	132名	128名	124名	80名
平成29年	1	箕輪光博	Aクラス：中部A-5 (岡田宗司・酒井秋夫 片山博司・森本正子 行徳信一)	名人岡田宗司	村主敏明	上村静	名人岡田宗司
	2	小笠原吉義		榎田博考	陣内富士男	柴田俊夫	高田孝司
	3	斉藤尚久		岩西武利	杉谷寿一	永戸隆雄	横山昌弘
	4	伊藤衛		浅田節美	伊藤衛	浅田節美	浅田節美
	5	田中幸雄	Bクラス：南部B-1 (若林聡・伊藤彪・上田美郎 西沢脩・山本正身)	中澤保延	浅田節美	一条信利	海老原延治
	6	新堀忠道		上田正彦	笠原義治	曾根哲男	秋元三郎
	7	井上克己		溝口早苗	河野剛成	河野剛成	中澤保延
	8	蒲浦美好	Cクラス：中部C-2) (小澤サダ子・河野剛成 中村昭雄)	中田利	竹内元由	山本義夫	長宗敏治
	9	有村安秀		渡辺靖			
	10	有馬慎太郎					
参加人数		120名	114名	120名	112名	112名	
平成30年	1	後藤弘	Aクラス：中部A-2 (大山明男・平塚宏・片山博司 森本正子・田中幸雄)	名人岡田宗司	岡田宗司	柴田俊夫	
	2	曾我正幸		松本正彦	寺上義昭	榎田博孝	
	3	浅田節美		石黒紀夫	太田三郎	田中幸雄	
	4	深沢四平		中島敏夫	田中幸雄	今井道直	
	5	新堀忠道	Bクラス：中部B-1 (角田英雄・海老原延治 鈴木徳三郎・佐藤興治 清水道孝)	上田美郎	西沢修	寺島美信	
	6	井上克己		上田正彦	久保田範義	鎌沢雄治	
	7	河野剛成		井出是子	勝山徳三郎	竹内元由	
	8	神間秀治		竹内元由	神間秀治		
	9		Cクラス：江口教室C-2 (福士勇・高橋浩保・伊藤厚二)				
	10						

(3) 段級位囲碁大会オープン戦 (平成26年終了)

開催年	参加者数	組	優勝者氏名	開催年	参加者数	組	優勝者氏名	開催年	参加者数	組	優勝者氏名
第1回	120名	1	◎佐澤秀夫	第2回	140名	1	平塚宏	第3回	140名	1	村主敏明
平成24年		2	石井章夫	平成25年		2	等々力勝	平成26年		2	尾崎千賀雄
		3	久島明			3	杉谷寿一			3	高田孝司
		4	村上庸			4	福原重司			4	石井譲二
		5	茂木弘			5	前田正美			5	植木栄三
		6	松島彰			6	一条信利			6	江原高
		7	太田三郎			7	岩谷弘二			7	守内禎誼
		8	清水豊			8	清水豊			8	小野京
		9	松本守郎			9	久末宥子			9	堀内幸晴
		10	早川鉞幸								
		11	柳橋憲助								
		12	越川定夫								
		13	中澤保延								
		14	清水道孝								
		15	鈴木匡								
		16	小澤サダ子								
		17	伊藤厚二								

◎印:野田囲碁会会長

(5) - ① 東葛飾文化祭囲碁大会の成績記録

	開催	幹事(市)	参加(市)	成績結果
第1回	11年	流山	野田・柏・松戸・我孫子・市川	優勝：流山A 準優勝：鎌ヶ谷チーム
			鎌ヶ谷・沼南町	
	5人編成/16チーム：A（5段以上）B（3～4段）C（2～3段）D（初～2段）E（1級以下）			
第2回	12年	我孫子	野田・柏・松戸・市川・流山	団体戦/優勝：野田A 準優勝：流山B
			鎌ヶ谷・沼南町	個人戦/優勝：宮本健志（沼南町） 準優勝：青山昭士（野田）
	5人編成/16チーム（A～Eは前年と同じ段級位） 16人編成の名人戦			名人戦/名人：記録不明
第3回	13年	野田	我孫子・柏・松戸・流山・市川	団体戦/優勝：野田A 準優勝：我孫子A
			鎌ヶ谷・沼南町	名人戦/名人：宮崎裕治（市川） 2位：青山昭一（野田）
	対局は前年通り			

※第4回は中止

(5) -②

	開催	幹事(市)	参加(市)	成績結果
第5回	15年	流山	市川・鎌ヶ谷・我孫子・野田	団体戦/優勝：野田B 準優勝：市川A
			沼南町・柏	名人戦/名人：宮本健志（沼南町）
	7人編成/16チームの団体戦と16人の名人戦 主将（7段以上）副将（6段）三将（5段）四将(4段) 五将（3段）六将（2段）七将（初段）			2位：伊尾俊則（我孫子） 3勝：鈴木望義（流山）
第6回	16年	我孫子	野田・柏・松戸・流山・市川	団体戦/優勝：市川 準優勝：鎌ヶ谷A
			鎌ヶ谷	名人戦/名人：高橋真澄（流山）
	対局仕様は前年通り			2位：伊尾俊則（我孫子）
第7回	17年	野田	柏・松戸・流山・市川・鎌ヶ谷	団体戦/優勝：鎌ヶ谷A 準優勝：同B
			我孫子・沼南町	名人戦/名人：大角一飛（松戸）
	対局仕様は前年通り			2位：浜谷秀夫（鎌ヶ谷）
第8回	18年	柏	松戸・流山・市川・鎌ヶ谷	団体戦/優勝：野田C 準優勝：我孫子A
			我孫子・野田	名人戦/名人：市川博（柏）
	対局仕様は前年通り			2位：住本光雄(野田)

(5) - ③

	開催	幹事(市)	参加(市)	成績結果
第9回	19年	松戸	流山・市川・鎌ヶ谷・我孫子	団体戦/優勝：野田C 準優勝：我孫子A
			野田・柏	名人戦/名人：市川博（柏）
	対局仕様は前年通り			2位：伊勢島信義（柏） 3勝：鈴木望義(流山)
第10回	20年	流山	市川・鎌ヶ谷・我孫子・野田	団体戦A/優勝：野田A 準優勝：野田B
			柏・松戸	団体戦B/優勝：松戸A 準優勝：柏B
	団体Aは従来通り 団体Bは3人編成の級位者チームでハンデ戦			名人戦/ 名人：市川博（柏） 2位：金子公雄（柏）
第11回	21年	鎌ヶ谷	我孫子・野田・柏・松戸	団体戦A/優勝：鎌ヶ谷A 準優勝：鎌ヶ谷B
			流山・市川	団体戦B/優勝：松戸A 準優勝：野田A
	対局仕様は前年通り			名人戦/ 名人：北山清二(野田) 2位：八幡恭一（柏）

(5) -④

	開催	幹事(市)	参加(市)	成績結果
第12回	22年	我孫子	野田・柏・松戸・流山	団体戦A/優勝：鎌ヶ谷A 準優勝：我孫子C
			市川、鎌ヶ谷	団体戦B/優勝：柏A 準優勝：流山C
	対局仕様は前年通り			名人戦/名人：金子公雄(柏) 2位：鈴木望義(流山) 3勝：湯川靖司(流山)
第13回	23年	野田	柏・松戸・流山・市川	団体戦A/優勝：鎌ヶ谷B 準優勝：柏B
			鎌ヶ谷・我孫子・野田	団体戦B/優勝：流山C 準優勝：鎌ヶ谷A
	対局仕様は前年通り			名人戦/名人：伊尾俊則(我孫子) 2位：鈴木達也(柏)
第14回	24年	柏	松戸・流山・市川・鎌ヶ谷	団体戦A/優勝：柏B 準優勝：我孫子A
			我孫子・野田	団体戦B/優勝：松戸A 準優勝：鎌ヶ谷A
	対局仕様は前年通り			名人戦/名人：伊尾俊則(我孫子) 2位：鈴木敏之(野田)

(5) -⑤

第15回	開催	幹事(市)	参加(市)	成績結果
	25年	松戸	流山・鎌ヶ谷・我孫子	団体戦-1/優勝：我孫子A 準優勝：流山C
			野田・柏	団体戦-2/優勝：鎌ヶ谷A 準優勝：松戸B
	団体戦Aは団体-1に変更(チーム編成は同じ)			名人戦/ 名人：高橋光大(鎌ヶ谷) 2位：金子公雄(柏)
	団体戦Bは団体-2に変更(チーム編成は同じ)			
市川市は退会				

第16回	26年	流山	鎌ヶ谷・我孫子・野田	団体戦-1/優勝：我孫子B 準優勝：我孫子A
			柏・松戸	団体戦-2/優勝：流山C 準優勝：我孫子C
	対局仕様は前年通り			名人戦/ 名人：片岡安紀(柏) 2位：三村孝男(我孫子)

第17回	27年	鎌ヶ谷	我孫子・野田・柏	団体戦-1/優勝：流山B 準優勝：鎌ヶ谷A
			松戸・流山	団体戦-2/優勝：流山C 準優勝：流山C
	対局仕様は前年通り			名人戦： 名人：金子公雄(柏) 2位：鈴木敏之(野田) 3勝：久須美裕司(流山)

(5) -⑥

	開催	幹事(市)	参加(市)	成績結果
第18回	28年	我孫子	野田・柏・松戸・流山・鎌ヶ谷	団体-1/優勝：流山B 準優勝：鎌ヶ谷A
				団体-2/優勝：柏C 準優勝：鎌ヶ谷A
	対局仕様は前年通り			名人戦/名人：若山郁生（松戸） 2位：鈴木敏之（野田） 3勝：上村静（流山）
第19回	29年	野田	柏・松戸・流山・鎌ヶ谷・我孫子	団体-1/優勝：鎌ヶ谷B 準優勝：野田B
				団体-2/優勝：鎌ヶ谷B 準優勝：流山C
	対局仕様は前年の通り			名人戦/名人：岡田宗司（流山） 2位：後藤弘（流山） 3勝：鈴木望義（流山）
第20回	30年	柏	松戸・流山・鎌ヶ谷・我孫子 ・野田	団体-1/優勝：鎌ヶ谷A 準優勝：流山C 4勝・村主敏明・小宮陽一・伊藤和雄
	①第20回記念大会の名前入りスポーツタオルを配布 ②宮崎審判長は今回で退任し、感謝状を贈呈 ③第20回記念大会の特別企画で女性個人戦を開催			団体-2/優勝：流山B 名人戦/名人：岡田宗司(流山) 女性個人戦 Cクラス/ 優勝：白石佳子 準優勝：井出是子(流山)

(6) -① 地域交流『囲碁を楽しもう』：参加者数と流山市の成績優秀者

1) 参加者数

		東京理科大学	野田市	流山市	合計
第1回	平成16年12月18日	18	24	26	68名
第2回	平成17年10月22日	20	71	55	146名
第3回	平成18年10月14日	12	84	67	163名

2) 流山市成績優秀者

19年		東京理科大学：15 野田市：70 流山市：68			計153名
第4回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：大石健	該当者なし	4勝：仲田機文	4勝：鈴木匡 4勝：増川照代 4勝：橋本肇	
20年		東京理科大学：15 野田市：67 流山市：78			計160名
第5回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：青山昭士(野田)	該当者なし	4勝：仲田機文 4勝：笠原義治	4勝：阿部精 4勝：千葉勉 4勝：東葎もと子	
21年		東京理科大学：13 野田市：61 流山市：79			計153名
第6回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：北山清治(野田) 3勝：箕輪光博	4勝：榎田博考 4勝：森本正子	4勝：中保雄	4勝：青野晋也・是永知子 4勝：菅原孝吉・岡部幸男 4勝：林淳・奈良井梅子	

(6) -②

22年		東京理科大学：15 野田市：55 流山市：76			計146名
第7回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：八森祥隆(理大)	4勝：石井博晴	4勝：是永知子	4勝：城戸格夫・小澤サダ子 清水道孝	

23年		東京理科大学：14 野田市：65 流山市：49			計128名
第8回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：鈴木敏之(野田)	4勝：岩西武利 4勝：藤原和寛	該当者なし	4勝：岡部幸男 4勝：嶋博之	

24年		東京理科大学：9 野田市：60 流山市：61			計130名
第9回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：佐澤秀夫(野田)	4勝：八十島治典	4勝：橋本和博	4勝：小澤サダ子 4勝：佐違悦子	

25年		東京理科大学：9 野田市：79 流山市：67			155名
第10回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：今関航太(理大)	該当者なし	4勝：石川良太郎 4勝：福原重治	4勝：山下清人	

(6) -③

26年		東京理科大学：9 野田市：64 流山市：71			計144名
第11回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：八森祥隆（理大）	4勝：高田孝司	該当者なし	4勝：小澤サダ子 4勝：白石佳子	

27年		東京理科大学：8 野田市：64 流山市：75			計147名
第12回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：岡田宗司 2位：丹下修二	4勝：小野京	該当者なし	4勝：清水道孝 4勝：久末宥子・飯塚信勝	

28年		東京理科大学：12 野田市：67 流山市：60			計139名
第13回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：川口航平（理大） 2位：八森祥隆（理大）	4勝：片山博司	4勝：吉川弘明 4勝：小西尚俊	4勝：飯塚信勝 4勝：渡辺清	

29年		東京理科大学：7 野田市：64 流山市：54			計125名
第14回	名人戦	対局A	対局B	対局C	
	名人：浅井英樹（理大） 2位：柘植井英樹（野田） 3勝：佐久間祐一郎	4勝：浅田節美	4勝：笠原義治	4勝：阿部千恵子 4勝：飯塚信勝 4勝：長宗敏治	